



100th

安田町制施行100周年
—記念式典—

〈とき〉令和7年10月5日(日)午後1時から

〈ところ〉安田町文化センター・多目的ホール



町制施行100周年を迎えて



本日は、各界から多数の皆様のご臨席を賜り、式典が挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

大正14年2月11日に安田村が町制を施行し、今年で100年の記念すべき年を迎えました。

以来、一世紀にわたり、豊かな自然と長い歴史に培われた伝統文化に育まれ、町民と共に着実に歩み、発展してまいりました。

本町が、今日の発展に繋げることができましたのも、ご尽力されました先人のご努力と、皆様のご支援ご協力の賜物であり、心から敬意を表し感謝申し上げます。

100年という節目を迎え、私たちはこの町の魅力を再確認し、次の100年へ向けて、町の将来像である「共に生き 未来につなぐ 安田町 ～みんなで創る 共生空間～」の実現のため、町民の皆様をはじめ、町内の各種団体、町議会、行政がともに手を携え、「対話と協働」による魅力あふれるまちづくりを推進してまいります。私たちは、誇りある郷土安田町を、次の世代にしっかり引き継ぐ決意と覚悟を持って、なお一層の努力をすることをお誓いいたします。

引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、町制施行100周年記念式典にあたってのご挨拶といたします。

安田町長 黒岩 之浩

一 式次第

記念式典 13:00

- 1 安田町制施行100周年記念映像上映
- 2 開式の辞
- 3 町長式辞
- 4 100周年記念表彰
- 5 新編安田文化史発行披露
- 6 新編安田文化史発行功労者感謝状
- 7 来賓祝辞
- 8 祝電披露
- 9 議長挨拶
- 10 閉式の辞

記念もち投げ 15:00

記念行事 15:30

- 1 安田中学校吹奏楽部演奏
- 2 山下俊輔さま作曲「町制施行100周年記念テーマ曲」演奏
×
サイトウマサミツさまによるライブドローイング

Profile 山下 俊輔 さま
ギタリスト 作曲家

高知県出身 高知観光大使 愛知県大府市広報大使
桐朋学園大学短期大学専攻科首席で卒業。
2006年にギターデュオ「いちむじん」としてメジャーデビュー。
2018年いちむじん解散。その後ソロ活動へ。
2023年NHK連続テレビ小説「らんまん」挿入曲に参加。
大河ドラマ「龍馬伝」、連続テレビ小説「つばさ」「らんまん」と
国民的ドラマで演奏を務める。



Profile サイトウマサミツ さま
イラストレーター

イラストレーター。
J-WAVE "TALK TO NEIGHBORS"番組イメージイラストや
「婦人之友」2024表紙、
メリーチョコレートギフトパッケージや
アンリ・シャルバンティエの季節のケーキデザインを手掛ける。
その他、すみだストリート JAZZフェスティバルのメインビジュアル、
福音館書店の月刊絵本、病院のホスピタルアート、
ウィンドウアートやライブドローイングなど幅広く活躍している。



Photo by Minkyung Choi

安田町の100年史

1925
(大正14年)

- 1925 安田村が町制をしき安田町に
- 1932 中山村役場落成
- 1934 室戸台風により甚大な被害を受ける
- 1943 安田町と中山村が合併し安田町に

1950
(昭和25年)

- 1948 安田及び中山農業協同組合設立
- 1951 安田町商工会設立
- 1952 安田文化史発行
- 1964 安田町体育会発足
- 1966 安田川分水開始

1975
(昭和50年)

- 1970 安田小学校完成
- 国道55号線バイパス完成
- 1971 安田町庁舎完成・町章制定
- 1973 中山公民館完成
- 1975 町制施行50周年記念式典を挙行
- 安田中学校完成
- 1977 行政経営優良町として、自治大臣表彰受賞
- 1978 中山小・中学校完成
- 1990 文化センター・保健センター完成
- 1994 新潟県安田町(現阿賀野市)と姉妹町の盟約締結
- 1996 安田川アユおどる清流キャンプ場完成
- 1998 中芸広域連合発足

2000
(平成12年)

- 2000 味工房じねん完成
- 2002 ごめん・なはり線開業
- 結いの丘ドームで国体秋季大会が開催
- 2007 中山小学校と安田小学校が統合
- 中山中学校と安田中学校が統合
- 幼保連携認定こども園「安田さくら園」開園
- 2009 輝るぼーと安田完成
- 2010 「安田まちなみ交流館・和」完成
- 2013 安田町イメージキャラクター「安田朗」誕生
- 2017 「森林鉄道から日本一のゆずロードへ」が日本遺産に認定
- 2018 スペイン・モンテフリオと姉妹都市締結
- 2020 安田町役場新庁舎完成

2025
(令和7年)

- 2025 安田町制施行100周年



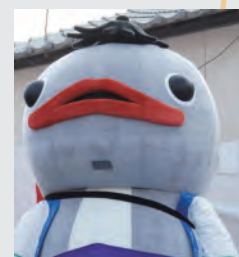
中山村役場落成(1932年)



町制施行50周年記念式典(1975年)



ごめん・なはり線開通(2002年)



安田朗誕生(2013年)



現庁舎完成(2020年)



こころの話

ー安田町に生きるとはー

安田町は「山、川、海がすべて揃っている自然豊かなまち」

しかし町民にとっては「自然しかないまち」

自然の中に暮らしているとそれが当たり前すぎて

人々のこころに宿ってはいるが

それが特別だと気づかないものがたくさんある。

町制施行100周年を記念した今回、そんな気づかないものにクローズアップして

安田町の暮らしの中にあるさまざまな「こころ」を紹介していきます。

山に支えられながら
山を支えていく。



かつての森林鉄道 ゆずが香り彩る ゆずロード

安田町の総面積の約80%を占める森林。
山に生育している樹木や草木は、
山をしっかりと抱き、降りそそいだ雨を貯え、安田のまちを守っています。

安田町を含む中芸地区の木材は木炭や薪などの需要で繁栄。
木材を運ぶ森林鉄道は、かつて西日本最大と言われ、
線路周辺には多くの飲食店や映画館などが作られていた歴史もあり
安田町に暮らす人々の生活に大きな影響を与えていました。



高知市立市民図書館所蔵 寺田正写真文庫

未来へ

森林鉄道が廃線となった後、やがて車道となり
その周囲はゆず畑の風景へ変わります。
中芸地区の「ゆずロード」として新たな産業がスタートしました。
ゆずの彩りに満ちた景観と遺構、食文化が重要文化として認められ
2017年に日本遺産に認定されています。

自然豊かな山々は、安田地域の歴史には欠かせない存在であり
その恩恵は、町民のこころや産業をつないでいます。





チーム園芸で
県内屈指のシェアへ。

「施設園芸」の発祥地

国内の施設園芸（ビニールハウス栽培）の
始まりの地が、海に近い唐浜地区にあります。
潮風の影響から農業には不向きとされた土地を
なんとか生かしたい・・・

安田町に暮らす人々の意欲や情熱、
安田川からの上水路整備を経て、その挑戦が実を結びます。
やがてビニールハウス園芸の分野で農業発展の礎を築きました。



現在、県内でもシェアが高い安田町の野菜。
ナスやトマト、露路栽培のオクラ、自然薯など年間を通して日照時間が長く、
雨量も充分なこの地の農業は安田町を支える産業になっています。

農業はチーム園芸とも言われ、地域町民で助け合いながら
ハウスのメンテナンスや苦難を乗り越えてきた歴史があります。
この人と人の繋がりがこそが施設園芸の発展につながっています。

また農業の担い手を育成する新規就農制度も設けており、
これからの100年に向けた取り組みにも注力しています。



未来へ



100年たっても
変わらない。

地域の未来を育む 安田川

安田町の水は古来から変わらず清らかで人々の生活はもちろん
農業や食文化などさまざまな産業にも密接に関わっています。

雨量が豊富なこの地で豊かな水の恵みを受けながら
水を大切にしてきた人々のこころがあります。

生活排水や農業排水の影響が少ないことから
清らかな安田川が保たれており、土佐湾に面した川下では、
黒潮や河川の栄養豊かな漁場が作られていました。



安田町の中央を流れる安田川。

この清流で釣れる鮎は有名で全国清流めぐり利き鮎会で
2度グランプリに輝くほど。

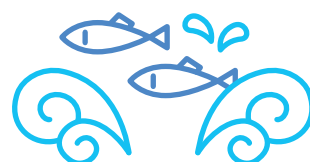
6月の解禁日を過ぎると全国から鮎ファンが数多く集まります。

「安田川は家族である」町民の言葉が表す通り、
水とともに生きる安田町の人々には心の支えであり、なくてはならない存在です。

この清流を生かした造り酒屋が独自の発展をとげており
現在、安田町でとれたお米と安田川の水を使った日本酒の新ブランドが
生まれるなど安田町の未来につながる熱意ある取り組みが進んでいます。



未来へ





安田町イメージキャラクター
「安田朗」です

町のじまん野菜や果物の衣装を
身につけちゅう鮎なかです。
背中に自然薯を背おうちよります。
のんびりした性格で、
おやつとお酒が大好き。

町鳥



うぐいす

町花



はまゆう

町木



くすのき



町章

安田町の「や」を花開くイメージでデザインしたもので、豊かな産業、文化が花開く町として、
丸い形は、町民の融和・協調・円満の願いが込められています。

安田町役場

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850番地
TEL:0887-38-6711(代) FAX:0887-38-6780